

## 引退犬を迎えるにあたって

### <準備して頂きたいもの>

- ・寝る場所（ケージ、敷物 等）
- ・食器（飲み水用、食事用）
- ・犬用シャンプー、タオル
- ・リード、首輪、
- ・ブラシ（短毛種用）

※リード・首輪・ブラシは盲導犬協会でも販売しています。

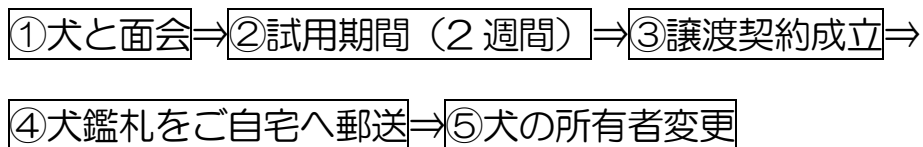
### <お願いしたいこと>

- ・しつけは家族全員で協力して行いましょう
- ・人の食べているものは、あげないで下さい
- ・危険なものは犬の届かない所へ移動しておきましょう
- ・体重管理をきちんとしましょう（太らせないように）
- ・健康チェックはこまめにしましょう  
目・耳・歯はきれいかどうか、元気があるか、  
爪は伸びすぎていないか 等
- ・普段と様子が違うなど、気になる時は、獣医さんに相談をしましょう

### <犬との面会日に持参していただくもの>

- ・印鑑（※当日引退犬を引き取る場合に必要となります）
- ・リード
- ・カラー（首輪）

### <面会当日から契約までの流れ>



- ① 引退犬と面会をしていただき、犬の特徴や様子、健康状態を確認していただきます。先住犬がいる場合は、その先住犬との相性を確認したいので可能な限り連れてきてください。
- ② 犬との面会后、引き取りが可能な場合は、自宅に連れて帰っていただき、自宅での様子を確認してもらいます。試用期間中、飼育が困難となる場合は協会にご連絡ください。
- ③ 試用期間終了後、引き取り可能かどうか確認のお電話を致します。
- ④ 譲渡契約成立後、引退犬の犬鑑札をご自宅へ郵送いたします。
- ⑤ 市役所または保健所で、引退犬の所有者変更の手続きをお願いします。

## —指示語について—

- Sit (シット) ⇒座らせる時に使います。
- Down (ダウン) ⇒伏せさせるときに使います。
- Wait (ウエイト) ⇒待たせるときに使います。
- Come (カム) ⇒呼ぶときに使います。
- Heel (ヒール) ⇒左側につかせる時、又は人間のペースに合わせて歩いて欲しい時に使います。

この5語が基本的なものになります。

気をつけなければならないことは、基本的に指示語を出すのは1回!という事。

慣れていない方は、ついつい「はい、シットシットシットシット・・・」と繰り返し指示語を言ってしまいがちです。でも、犬達は指示語を理解しているので1回言えば分かるのです。

もし、1回の指示語で動かない場合は

- 「何度も指示語を言われる方に慣れてしまって、1回の指示では動かなくなった」
- 「まだ関係が上手く出来ておらず戸惑っている」
- 「何かに気をとられていて聞こえていない」
- 「今はそんな気分じゃないんだよ〜」(ただのワガママ)
- 「どこか痛くて指示語の動きが出来ない」
- ...などの理由が考えられます。

最初のうちは、しっかりと集中できる環境で(例えば室内で1対1で行うなど)指示語を出し、出来た時はよく褒めてあげましょう。これを繰り返すことで犬は「あ、こうすれば褒めてもらえるんだ!」と理解し、より良い関係を築くことが出来るようになります。

## —他の指示語—

- good (グッド) ⇒褒めるときに使います。
- no (ノー) ⇒指示語に気付かせる為に使います。
- ok (オッケー) ⇒指示語を解除する時に使います。
- house (ハウス) ⇒ケージに入れる時や、車に乗せるときなどに使います。
- out (アウト) ⇒噛んでいるものを離して欲しい時に使います。
- one,two (ワン、ツー) ⇒排便をさせるときに使います。(ワンがおしっこ、ツーがうんち)

指示語に対してきちんと動けた時、「sit good!!」や、「down good!!」と good を使用して褒めてあげましょう。それに対し、1回の指示語で動かなかった場合(しかも関係がきちんと出来ていて、尚且つ集中できる環境だったのにやらなかった時)は「No,sit」と指示語の頭に「No」をつけてもう一度指示語を出しましょう。「No」に有効性を持たせるためには「Good」の意味を理解させることが必要です。ですから、「No」ばかり使用せずに、普段から「Good」をたくさん使ってあげましょう!!

私達職員は、犬が何歳になっても必ず1回1回「Good!」と褒めています。褒めるのをやめてしまうと、犬はいつの間にか言う事を聞かなくなってしまうので、「できる(やれる)のが当たり前」ではなく、毎回「よく出来たね!!」という気持ちを忘れずに褒めてあげてください。

### —生活時間について—

盲導犬使用者によって生活時間は様々です。詳細は引き渡し時にお伝えします。下記の時間は目安です。

☆ 食餌時間 朝⇒7時～8時頃 夕⇒16時～17時頃

☆ 排泄時間 朝・10時・13時・16時・夜寝る前

食餌の時間、排泄の時間については変更して頂いて構いません。それぞれのご家庭の生活時間に合わせてください。ただ、慣れていない最初のうちはできるだけ盲導犬使用者宅での生活時間に近い方が失敗などの心配は少ないと思います。

### —散歩について—

ラブラドルは体力があり、運動の好きな犬種です。散歩は、できれば1日2回（朝・夕）、1回30分～1時間位行いましょう。欲求不満になると、室内でいたずらをすることがあります。家の中で落ち着いて生活をさせるためにも、運動はしっかりとさせましょう！！

雨の日やどうしてもお散歩にいけない日はどうすればいいですか？との質問をよく受けます。

こちらはある程度人間の都合に合わせても大丈夫でしょう。ただし、トイレにはしっかり出してあげてください。

「運度不足になって肥満体型になった！」なんてことにならないよう、ご注意を・・・！

### —体重管理について—

犬の体重管理はとても重要です。体重管理がその犬の寿命を左右するといっても過言ではありません。実際、太ったり痩せたりを繰り返すうちに心筋梗塞になり、若くして亡くなってしまった犬もいます。犬を必要以上に太らせるのは虐待です。犬の1kgは、人間に換算すると4kgに相当します。

「あ、1kg増えちゃった。ま、大丈夫だよな」⇒「あ、4kg増えちゃった。ま、大丈夫だよな。」とは思わないでしょうか？（自分に置き換えてみてください）

ですから、体重管理はきちんとしてあげるようお願い致します！

### —歯磨きについて—

よく、「犬の歯は磨いてあげた方がいいのですか？」という質問を受けます。

ドッグフードだけしか食べていなくても、犬の歯には歯垢が溜まります。そして放っておくとそれは口臭の原因や歯石・歯周病の元になります。歯石になってしまうと、なかなか取れない上に犬にも痛い思いや、嫌な思いをさせてしまいます。ですので、歯垢がたまらないようにしてあげる配慮は必要です。

どうやって歯垢がたまらないようにするのか？一つ一つ説明していきます。

- ① タクシーの運転手さんがつけるような繊維の細かい手袋をつけて、犬の歯を拭いてあげる。
- ② 少し固めのおもちゃを与える。（人工のナイロンでできた骨など）
- ③ 犬用の歯磨き用品を使い、清潔に保つ。

まず、①ですがこれは盲導犬使用者さんにおすすめしているやり方です。口の中を触られるのが嫌で

ない子であれば、どなたでもこのやり方を使えます。他にも、ガーゼを指に巻いて歯を拭くという方法もあります。

次に②ですが、これは人工のナイロンでできた骨を与える方法です。この骨自体はカロリーもなく、犬が細かくした破片を飲んでも無害ですが、歯のエナメル質を傷つける可能性があります。犬によっては、歯が欠けてしまう事も。与えっぱなしは避け、必要な時にだけ使用しましょう。噛んでいると、だんだん小さくもなってきます。そうなりますと飲み込む危険性も出てきますので、大人の片手で収まりきる前に新しいものと交換しましょう。

中には、所有欲が強く骨を与えると返してくれなくなる犬もいます。そういった犬への使用は避けた方がいいでしょう。

最後に③ですが、犬用の歯磨きガムや歯磨きジェルを使用する方法です。ただ、歯磨きガムは事故の報告例がいくつかありますのでご注意ください。そしてそういったガム類は少なからずカロリーがあります。太らせる原因にもなりますので、できれば避けた方がいいでしょう。歯磨き用ジェルですが、これは小さい頃から習慣化してやってあげている子でなければ難しいかもしれません。問題なくやらせてくれる子であれば、使用してもいいと思います。勿論、練習次第では出来るようになる子もいますよ！

その仔に合った歯磨き方法でいつまでもきれいな歯を保ちましょう！！

何か不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

公益財団法人 東日本盲導犬協会  
〒321-0342 栃木県宇都宮市福岡町 1285  
電話：028-652-3883  
fax：028-652-1417